

石島会計メモ



中央区日本橋本石町 4-5-12
友泉本石町ビル 3階
石島公認会計士事務所
(03)3275-1311
発行責任者 石島洋一

平成27年10月号

ふるさと納税、企業版も創設！（されるかも）

「ふるさと納税」は、石島会計メモで過去に何度か紹介してきましたが、自分が選んだ地方自治体に寄付すると、税金が軽減されるうえに地方自治体からお礼として特産品がもらえることもある、ということで人気を博している制度です。寄付をする人の所得にもよりますが、寄付金が一定の範囲内であれば**実質2千円**で特産品をもらうことができるので、利用者は年々増加、2014年には13万人超が同制度を利用したようです。



この「ふるさと納税」は個人を対象としたものでしたが、地方創生をうたう政府が（人気に味をしめたのか）企業版の創設を検討しています。

企業版ふるさと納税、その名も…

企業版ふるさと納税は検討がされ始めたところであり、次回の税制改正（平成28年度）で導入を目指すと言われています。平成28年度税制改正の要望を見てみると、『**地方創生応援税制**の創設』という項目名で提案されています。



その内容としては、「地方創生を推進するうえで効果が高いと認定された事業に対して寄付をする場合には、**税額控除**を認めますよ」というものです。現行でも寄付金は一定金額まで経費として認められることになっていますが、さらに地方創生につながる寄付については**上乗せ**で税金の優遇を認めようとするものです。

企業の実質負担はどのくらいか？

個人の場合、最低でも2千円は自己負担する必要がありました。これに対し、企業版の場合は、**寄付金額の4割程度**を自己負担とする線で検討されているようです。つまり、**寄付金額の6割程度**を減税するということです。もちろん、際限なく認めるわけではなく寄付金額に上限を定めるのですが、大きなインパクトであるといえます。

（うら面へ続く）

問題もささやかれている

個人版のふるさと納税でも、“お礼”としての特産品競争が過熱していることが問題となっています。企業版でも同様に、多額の寄付をした企業が優遇されて公正な競争が妨げられるのではないかと懸念があります。



また、財政が潤っている自治体への寄付は対象外であり、東京都などが外れるのではないかと話もあります。対象外となれば寄付が入ってくることが少なくなる一方で優遇した分の税金収入が減ってしまいますから、自治体としては痛手です。東京都知事がこの制度の導入に反対していますが、前に述べた13万人超のふるさと納税個人利用者のうち3万人近くが東京都民であることを考えると、東京都知事としては反対するのも無理ないのかもしれませんが…しっかりと地方創生につながる制度として欲しいものです。

企業版といえば、マイナンバーも

いよいよ通知が開始されたマイナンバーですが、個人だけではなく企業（法人）にもマイナンバーが付けられます。



個人のマイナンバーは源泉徴収票の作成や社会保険各種書類の作成など限定した範囲でのみ利用することが許されており、その番号はむやみやたらに集めたり教えたりしてはいけないなど、厳しい管理が求められています。適切な管理がされなかったときの罰則規程すらあります。

一方、法人のマイナンバーも同じかといえば、実はそうではありません。個人の番号と違い、**法人のマイナンバーは公表されることになっており、誰でも自由に使うことができます。**名称、所在地、法人マイナンバーが、10月26日以降にインターネットで公表されることが予定されています。ですから、個人のマイナンバーのように、厳重に管理する必要はないのです。通知が来てもビクビクしなくて大丈夫です。



ちなみに、弊所メンバーの内藤が聞いたセミナーでは、企業に付される番号は「法人マイナンバー」ではなく「法人番号」が正式だと強調されていたとのこと…「法人マイナンバー」の方がわかりやすいと思いますけどね。

(文章：石島慎二郎)

みやぎの明治村を知っていますか？

とめ ～宮城県登米市の旅～

(書き手：田代真紀)

「明治村」と聞くと誰もが思い出すのは、愛知県犬山市にある明治村でしょう。でも、宮城県の北部、登米（とめ）市にも明治村と呼ばれる場所があります。主人の実家に近いこともあり、夏休みに訪れてきましたので、ご紹介します。



☆登米市歴史博物館

登米市の中心、佐沼にある博物館。江戸～明治にかけての武家文化と民衆の暮らしの常設展示がされています。北上川に続く迫川が流れるこの地は、船の往来も盛んであったため、江戸に米を運ぶために使用された船の模型なども展示されています。こぢんまりしていますが当時の庶民の生活がわかるものとなっています。博物館の前には鹿ヶ城公園があり、春にはお花見の人で賑わうようです。



☆みやぎの明治村

歴史博物館のある佐沼から車で約30分。登米（とよま）町に明治村と呼ばれる所以の建造物があります。主なものは、教育資料館、水沢県庁記念館、警察資料館、登米懐古館そして伝統芸能伝承館の5つです。

① 教育資料館

旧登米高等尋常小学校の校舎。明治21年に建てられた洋風建築で、国の重要文化財に指定されています。コの字形で吹き抜けの片廊下式、中央にあるバルコニーが特徴的です。教室には明治～昭和の教科書や足踏み式のオルガンなど懐かしいものが展示されています。



(うら面へ続く)

② 水沢県庁記念館

明治初期の一時期、現在の岩手県南部と合わせて水沢県と呼ばれた時代に県庁舎として使われた建物。その後、小学校や裁判所としても使用されました。



二・二六事件で暗殺された後の総理大臣・斎藤実はこの辺りの出身で、ここに勤めていたそうです。

③ 警察資料館

昭和40年代まで登米警察署として使用されていた建物。旧登米高等尋常小学校を建てた山添喜三郎の設計による。



白バイやパトカー、年代別の警察官の制服なども展示されている日本唯一の警察資料館です。



ほかにも、伊達氏に縁の鎧や刀等を展示した登米懐古館や、能舞台のある伝統芸能伝承館もあります。

この辺りの名物は「油麩」と「はっと」。小麦粉を練って熟成させゆであげたものが「はっと」、出汁で煮たりアズキやずんだと絡めたりしていただきます。



素朴なグルメもありますのでぜひ一度ご訪問下さい。お勧めのコースです。